

外 科

【一般目標】

- 1) 手術を中心とした外科治療の一連の流れを実習において経験する。
診療分野は消化器外科、一般外科、乳腺外科であり、2週間の期間実習する。
癌の手術だけでなく、急性虫垂炎、急性胆嚢炎、消化管穿孔、腸閉塞症など緊急手術も多く、実際に手術につくことにより多くの経験を積むことが出来る。
- 2) 基本的手術手技：糸結び、縫合を習得することを目標とし、術後管理の特殊性に関する知識を実習で体得する。特に基本的術後管理の考え方と各疾患での特殊な術後管理における理論的・実地的なノウハウについて理解を深める。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 術前の治療計画の検討と手術への参加、術後管理の理論的背景と実際を、実習で体感する。
- 5) 担当する手術において、その解剖と術式を理解する。
- 6) 適切な手洗い、ガウンテクニックと簡単な縫合、糸結びが出来る。
- 7) 外科領域で用いられる主要な検査・治療について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 8) 外科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

シラバス 呉共済病院

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。
- 5) 特に手術室においては清潔・不潔の区別に留意し、指導医の指示に従って行動すること。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。
- 4) 回診の際には、患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に指導医に提示すること。また、火曜日と木曜日の術前カンファレンスでは既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。
- 5) ポートフォリオ
毎日記載し、実習日誌について、毎日終わらないし、翌日の朝に指導医のコメント・署名をもらうこと。

シラバス 呉共済病院

【当科の週間スケジュール】

| | 行事、等 | 担当 | 場所 | 時間 |
|---|------|-----|--------------------|---------------------------|
| 月 | 手術 | 指導医 | 手術 | 8:30-17:00 |
| 火 | 回診 | 指導医 | 病棟 消化器術前カンファレンス | 8:30-17:00 17:30-18:30 |
| 水 | 手術 | 指導医 | 手術 | 8:30-17:00 |
| 木 | 回診 | 指導医 | 病棟 乳腺術前カンファレンス | 8:30-17:00 17:00-17:30 |
| 金 | 手術 | 指導医 | 手術 | 8:30-17:00 |

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

| 評価項目 | 配点 |
|--------------------|-----|
| 指導医による学生の行動内容の評価 | 15点 |
| 回診での患者提示のでき具合 | 10点 |
| カンファレンスでのプレゼンテーション | 15点 |
| 学生用カルテの内容 | 15点 |
| ポートフォリオの内容 | 15点 |
| 当科領域に関する知識・理解度 | 15点 |
| 手術室での行動・態度の評価 | 15点 |

以上の7項目について採点して総合評価(100点満点)を行う。

【実習指導医】

前田 佳之 外科部長、外科学会専門医、外科学会指導医、消化器外科指導医、消化器がん外科治療認定医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本肝胆膵外科学会認定 肝胆膵外科高度技能指導医

布袋 裕士 手術部部長、外科学会専門医、日本がん治療認定機構認定医、消化器がん外科治療認定医

シラバス 呉共済病院

| | |
|--------|--|
| 田原 浩 | 消化器外科部長、外科学会専門医、外科学会指導医、日本がん治療認定機構がん治療認定医、日本静脈経腸栄養学会認定医 |
| 長谷 諭 | 医師 外科学会専門医、消化器外科専門医 |
| 坂部 龍太郎 | 医師 外科学会専門医、消化器外科専門医、消化器外科指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、消化器がん外科治療認定医 |
| 山口 拓郎 | 医師 外科学会専門医 |
| 倉岡 憲正 | 医師 |
| 白川 賢司 | 医師 |

【参考図書、文献】

- 1) 消化器外科 へるす出版
- 2) 臨床外科 医学書院
- 3) 手術 金原出版
- 4) 各種癌診療ガイドライン
- 5) 各種癌取扱い規約
- 6) インターネット文献検索（国家公務員共済組合連合会中央図書室 J Dream IIIによる文献検索）が研修室で行える。